

# お取り寄せ特選盤

すべてレーベル（メーカー）取り寄せ（一部当店在庫）の新品です。

送料全国一律¥500（代金引換はプラス¥100の¥600）

当店期間限定の送料無料アイテムとの同梱発送、またはお買い上げ合計1万円以上で

送料無料、代引送料（代引手数料も）無料となります。

アーティスト	タイトル	レーベル	当店税込価格
MILES DAVIS	1CD UNKNOWN NEW YORK 1974 -band recording-	HANNIBAL HANNIBAL-012	¥三千六百元



ファン衝撃の完全初登場音源！“エレクトリック・マイルスのミッシング・ピース”と呼ぶべき驚愕のアイテムがHannibalレーベルより登場！！1974年にニューヨークでおこなわれたということ以外は、日付や会場などの細かいデータは一切不明というこのライブ・テイク。これまでに世界中のマイルス・コレクター達が作成してきた、いかなるデータベース上にもリストアップされることがないという「正真正銘の蔵出し音源」です！経年によるノイズや劣化とは無縁の極上品質のマスターを使用しているため音質も素晴らしく、マイルス・コレクターにはお馴染みの「バンド・レコーディング」による録音なのでサウンド・バランスも完璧！ステージ上で繰り広げられる“1974マイルス”のパフォーマンスを生々しく伝えてくれます。肝心の収録内容も「驚愕」という他にない非常にセンセーショナルなもので、未発表のファンク・チューン等を含む大変珍しいセットを、70分以上に亘り余すところ無く完全収録しています！“1974マイルス”のライブ・ステージを、これだけ完全な形で捉えたアイテムはこれまで存在しなかっただけに、ファンにとっては文字通り待望のアイテムといったところでしょう！音質、演奏内容ともに“1974マイルス”のベスト・テイクと断言出来る大推薦盤！2011年上半期のベスト・マイルス・ブートにノミネートする衝撃のアイテム！もちろん今回も永久保存のプレスCDでのリリースです、お買い逃がしなく。

\* 「Turnaroundphrase」の途中で音量が不安定になる箇所がありますが、マスターに起因するものです。ご了承下さい。

全てレーベル（メーカー）取り寄せの新品オリジナルです  
全国送料一律¥500（代金引換はプラス¥100の¥600）

当店期間限定の送料無料アイテム、

またはお買い上げ合計1万円以上で送料無料、  
代引送料（代引手数料も）無料となります。

〒060-0061 札幌市中央区南1条西6丁目 第2三谷ビル3F

BEASTONE（ビーストーン）

店舗営業時間：13:00～19:00（月曜定休）

TEL&FAX (011) 556-4227

E-Mail: info@beastone.com

当店お買い上げ、ご予約合計金額二万円以上の一括同梱発送で10%割引(送料/代引送料無料)です。

ビートレック誌、当店(他店)リスト等のカタログ番号をご参照願います。

ただし、廃盤、当店取り扱いのないレーベル、タイトル、一部委託品等は適用外です。

当店取り扱いアイテムは全てレーベル、メーカーのオリジナル品です。

コメント、解説等は初回発売時のメーカーインフォから

リスト作成日以前の価格は入荷状況等により変動します。

旧作タイトル、リスト以外のタイトルはメールでお問い合わせ願います。

AL DI MEOLA

2CD

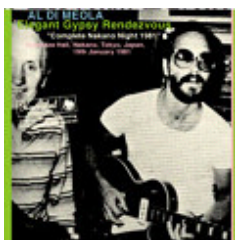
ELEGANT GYPSY

HANNIBAL

¥四千七百日

RENDEZVOUS

HANNIBAL-002



1981年Al Di Meolaの単独初来日公演より、1月19日中野公演を完全初出の極上ステレオ・オーディエンス録音にてコンプリート収録したプレス2CDの登場！1974年、弱冠20歳にしてRETURN TO FOREVERのギタリストに抜擢され、RTF解散前後より精力的なソロ活動を行い、70年代が終わりを告げる頃には、正確無比なフルピッキングによる猛烈な早弾きと叙情的な曲作りでフュージョンギターの第1人者としての地位を不動のものとしていたアル・ディメオラ。1979年のLive Under The Skyでは、Chick Corea、Tony Williams、Bunny Brunelとの共演でファン待望の初来日を果たしましたが、自らのバンドを率いての来日公演は1981年のことでした。前年にはエレクトリック路線の集大成的なアルバム『Splendido Hotel』を発表、さらにJohn McLaughlin、Paco De Luciaとのサンフランシスコ・ライブも行っており、この時期に満を持しての来日公演が敢行されたというのも今となっては大変意義深いものと感じます。この時のツアーの音源としては、エアチェックモノの1/24厚生年金や1/18中野がこれまで出回っていましたが、いずれも実際の演奏時間の半分にも満たない不完全なものでした。故に、今回初登場となったこの音源の価値は、昂る「Alien Chase ~」オープニングから熱狂のラスト「Layla Jam」「Jumpin' Jack Flash Jam」までの完全収録というその一点のみにおいても極めて高いものと言えます。しかしながら、驚きはそれだけではありません！本作には、余計なノイズが一切混じっていない驚くほどクリアで全ての音域をバランスよく収録した極上のオリジナルマスターが用いられており、ライブの臨場感においてこれ以上は何も求めることが出来ないといえるほどの驚愕のクオリティを実現、これまでエアチェック音源に慣れてきた“耳”からウロコが落ちる気分です。音響集団Hannibalプロデュースのプレスタイトル第2弾。

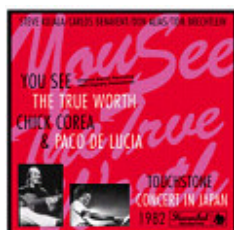
CHICK COREA &  
PACO DE LUCIA

2CD

YOU SEE THE TRUE WORTH HANNIBAL

¥四千七百日

HANNIBAL-001



ファン驚愕の発掘音源！1982年『Touchstone』発表後、Paco de Luciaをゲストに行われた来日公演が高音質ステレオ・サウンドボード、プレス2CDで初登場！70年代後半、若きフラメンコギターの巨匠Paco De Luciaを、当時のJazz・Fusionシーンを牽引するAl Di Meola、John McLaughlinといったギタリスト達と引き合わせる水先案内の役割を果たしたChick Corea。彼が1981年田園コロシウムでおこなわれたLive Under The Skyでパコ率いるセクステットのステージにゲスト参加し、そこでのラテンフレーヴァー全開のセッションそのままに翌82年制作されたのが前述の隠れ名盤『Touchstone』です。そして同年末に、短期間ながらPaco De Luciaをゲストにツアーが行われており、その中の貴重な日本公演の模様を収録したのが本作となります。入念なりマスタリングにより、時代を感じさせないクリアな音質と適度にふくよかな中低音域を実現、この時期のPaco De Luciaのギターの音色がここまで生々しく記録された音源は他に無いと断言できる高音質盤です。演奏内容の方も素晴らしく、Paco De Luciaのソロギターで幕を開け、『Touchstone』収録の佳曲の数々、チックのスパイスが効いたダイナミックなアレンジの「Chiquito」、「Children's Song No3」等のチックのソロピアノ、この日のハイライトと言っても差し支えないであろう「Touchstone Suite」の全編演奏、そしてスペインの至宝が奏でるアランフェスのアダージョから怒涛の如くなだれこむラスト「スペイン」まで、ただただ我を忘れて聴き入るのみです。音響集団Hannibalプロデュースのプレスタイトル第1弾。

MILES DAVIS

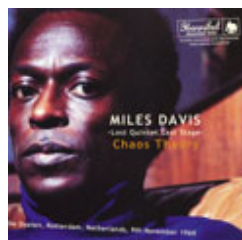
1CD +1DVDR

CHAOS THEORY

HANNIBAL

¥三千五百円

HANNIBAL-003



Lost Quintet最後のステージ、1969年11月9日ロッテルダム公演がマスタークオリティのステレオサウンドボード、24bitデジタルリマスタリング仕様のプレスCDで登場。名演として名高いこの日のステージ、近年再放送されたことにより既に様々な形で出回っているため、経年によるノイズから解き放たれたクリアなサウンドで多くのファンの方が体験済みのことと思いますが、他の音源とは一線を画す最高音質の決定版が本作となります。入念に施されたデジタル・リマスタリング作業により、放送用にミックスされた段階で大幅に失われていたハイ・エンドとロー・エンドが見事に蘇っており、またステレオ感においてもこれ以上望めないレベルの最高級の分離を実現、大音量で“統制のとれた混沌”を思う存分楽しむことができます。オフィシャル級のクオリティとは本作のためにある言葉とあって差し支えない、そう断言できる逸品です。ボーナスDVDには、この公演の2日前におこなわれたベルリン公演のアップグレード版を収録。こちらも音質が飛躍的に向上、映像ノイズが格段に減少した過去最高のクオリティとなっています。エレクトリック路線を本格的に驀進する70年代を目前におこなわれたLost Quintetの貴重なステージ、最終決定版です。

MILES DAVIS

2CD (+Bonus  
DVDR)

730619 TOKYO

HANNIBAL

¥四千五百円

HANNIBAL-005



1973年に行われた2度目となる来日公演より、6月19日の東京初日のステージを24bitデジタル・リマスタリングの施された極上音質のステレオ・サウンドボード録音にて収録したプレスCD。その人気、重要度ともに、マイルスのコレクターズCDの中でも最上位に位置づけられるこの日の音源は、放送用の流出マスターテープを用いた非常に高音質なアイテムとしてファンの間では広く認知されている通りです。その既発タイトルが市場から姿を消して久しい中、今回登場となった本タイトル、既発タイトルの単なる焼き直しのコピーかと問われればその答えは「否」です。即ち、本タイトルに用いられたマスターでは、「Tune in 5」等の音抜け箇所、「Ife」で頻繁に発生していたクリップノイズや一瞬の音飛び等が見られないということからもより良い状態のマスターを用いていることを証明しており、またそのサウンド・バランスにおいても、各楽器のエンハンスとライブの臨場感に重きを置いたプロ・スタジオ持ち込みのリマスタリング作業により、非常に完成度の高いライブ・ドキュメントと呼べる極上の仕上がりとなっています。さらに、翌6月20日の東京公演より、「Turnaroundphrase」「Tune In 5」「Right Off」の3曲を高画質プロショットにて収録したボーナスDVDRを追加。

MILES DAVIS

2CD+1DVDR

THE LOST FLEET

HANNIBAL

¥五千元

HANNIBAL-006



“ロスト・クインテット”期を代表する名演として名高い1969年11/5ストックホルム公演のサウンドボード・ソースと、11/4のコペンハーゲン公演のプロショット映像を、ともにマスタークオリティの極上品質のソースよりデジタル・リマスタリング収録したプレスアイテムが登場！まずCDには、11/5のストックホルム公演のファーストセットをディスク1に、セカンドセットをディスク2に、ともに近年の再放送に用いられたマスターから余計なDJ部分を排してデジタル・リマスタリング収録。チックのエレピが不具合をおこしたためアコースティック・ピアノによる演奏を楽しむことが出来る大変貴重なファーストセット、そしてロスト・クインテットの魅力が凝縮した芳醇な演奏が詰め込まれたセカンドセット、大変クリアな音質ながらオリジナルのマスターではモノラルであったこの日の公演を、Hannibalレーベルならではのリマスタリングにより立体感溢れる素晴らしいサウンドに生まれ変わらせています。一方、前日にあたる11/4のコペンハーゲン公演を取めたDVD、こちらも再放送に用いられた高画質の放送用マスターからデジタル・リマスタリング収録しており、大変美しい仕上がりの映像も勿論のことながら、音声部クオリティの素晴らしさは特筆に値します。CD、DVDともに永久保存のプレス盤です、お買い逃しなく！

MILES DAVIS

1CD+1DVD

LES PRELUDE

HANNIBAL

¥四千六百元

HANNIBAL-007



1973年11/3のオーストリア公演のサウンドボード音源と、11/1ドイツ公演のプロショット映像を、プレスCD & DVDに収録したファン待望のアイテムがHannibalレーベルより登場。CD（11/3オーストリア・ウィーン公演）では、近年の再放送に用いられたサウンドボード・マスターにHannibalレーベル独自のリマスタリングを施しており、オリジナルのマスターではモノラル収録であったこの公演を、前作『The Lost Fleet』（ロスト・クインテット期のストックホルム公演を収録した決定版）同様に立体感溢れる素晴らしい音質へと生まれ変わらせています。DVD（11/1ドイツ・ベルリン公演）においても、やはり近年の再放送に用いられた極上画質のプロショット・マスターを使用、この再放送マスターは30分のみの収録という不完全なものであったため、欠落している後半の20分弱を旧ソースのプロショット・マスター（現存する最良の状態のマスターを使用していますが、さすがに前半の新マスターのクオリティには及びません）で補完しています。DVDにおいてもHannibalレーベルならではのこだわりのリマスタリングが随処に光っており、音質・画質ともに最高の仕上がりと なっています。

MILES DAVIS

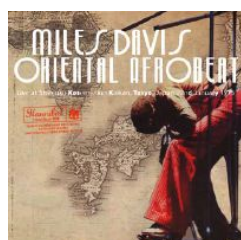
2CD

ORIENTAL AFROBEAT

HANNIBAL

¥四千六百元

HANNIBAL-008



1975年1月22日、東京厚生年金会館でおこなわれたMILES DAVISのライブを、“これぞ決定版”と断言出来る完璧な状態のステレオ・サウンドボード・マスターよりデジタル・リマスタリング収録したプレスCDが登場。『アガルタ』、『パンゲア』という2枚の名盤を生み出した75年来日公演、その一連のツアーの記念すべき幕開け公演となったこのステージは、70年代“エレクトリック・マイルス”を総括する必聴の公演の一つとして、ファンにとっては馴染み深いものとなっています。本アイテムでは、この公演を収録した初登場となるステレオ・サウンドボード・マスターを24bitデジタル・リマスタリング収録、既発のタイトル最大の難点である「Prelude」等において頻繁に発生する音揺れが存在しないことから分かるように、より鮮度の高い極上品質のマスターを使用しており、音質に関しても、レーベル独自のリマスタリング作業により、ライブの臨場感をダイレクトに伝えてくれる重厚で非常に生々しい極上サウンドへと磨き上げられています。限定プレスCD2枚組み、お買い逃しなく！

MILES DAVIS

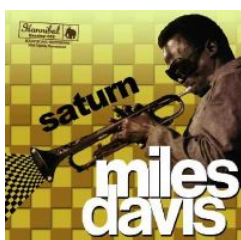
1CD+1DVD

SATURN

HANNIBAL

¥四千六百元

HANNIBAL-009



Hannibalレーベル第9弾、Miles Davisの1970年のステージより2公演を、プレスCDとプレスDVDに収録。まずCDには、6月にNYのFillmore Eastでおこなわれた4連日公演の中から、最終日6/20のステージ、いわゆる“土曜マイルス”をサウンドボード・マスターよりデジタル・リマスタリング収録。Fillmore East 4連日公演といえば、So Whatレーベルの手により陽の目を見たフィルモア3連発完全版を抜きにしては語ることが出来ませんが、本CDは、『Complete Saturday Miles At Fillmore』に用いられたマスターをSo Whatレーベルより借り受け、Hannibalレーベルならではの入念なりマスタリングを施して収録したものです。この“土曜マイルス”は、水曜や金曜のようなオフィシャル級の完璧なバランスではないため、これまで“通好みのアイテム”という位置づけでありましたが、このたび新たにリマスタリングが施されたことにより、奥に埋もれていたチックのエレピやキースのオルガンも格段に聴き取り易くなった立体感溢れる音像へと生まれ変わっています。DVDには、同年8/18におこなわれたTanglewood公演のプロショット映像を収録。こちら、現存する最良の状態のマスターにレーベル独自のリマスターが施されており、ドロップアウト等は皆無のとても綺麗な映像と、非常にクリアでバランスの良い素晴らしいサウンドへと仕上がっています。

MILES DAVIS

1CD + Bonus

PROTOCOLCOSMOS

HANNIBAL

¥四千九百円

1CDR

HANNIBAL-010



"1974"マイルス、サンパウロ初日公演を決定的な音質で収録したプレスCDがHannibalレーベルより登場！バンド関係者により録音された秀逸なサウンド・バランスのマスターに、Hannibalレーベル独自のデジタル・リマスタリングが施された極上音質盤です。「Tune In 5」途中でフェード・アウトになってしまう点は既発のSo What盤と同様ですが、新たに24bitデジタル・リマスタリングが施されたことにより、のた打ち回るような重低音から急成長を遂げたリズム・セクションの鮮やかなアンサンブル、そして突き刺さるマイルスのトランペットまで、バンド全体が繰り出す驚異的なサウンド、この時期ならではの混沌としたヘヴィなファンク・サウンドを生々しく伝えてくれる極上サウンドへと仕上がっています。数々の名演を残した充実著しい1973年ツアーを終え、『アガルタ』『パンゲア』へと至る一里塚ともなった1974年ツアー、その中でも屈指の名演と呼ばれるサンパウロ公演を最高音質にて記録したファン必聴のアイテム！もちろん永久保存のプレス盤です！

**\*初回入荷セットには、この時期のみバンドに在籍した伝説のギタリストDominique Gaumontの貴重なセッションを収録した限定ボーナスCDRが付属します。**1974年9/6、Charles "Bobo" ShawやLester Bowie等とともに、マイルス・バンドでのツアーの合間を縫っておこなわれたフリーキーなNYセッションを、完璧なサウンドのステレオ・サウンドボード録音にて収録したものです。1974年の1年間のみながら、弱冠21歳でマイルス・バンドに入団し、3ギター編成の一角を担ったDominique Gaumont。1983年に30歳という若さで急逝してしまったこのギタリストのプレイを確認出来る音源はほとんど残っていないだけに、マイルスの御眼鏡にかなったJimi Hendrix直系のギター・プレイを存分に堪能出来るこのセッションは、大変貴重なボーナス音源といえるでしょう。

MILES DAVIS

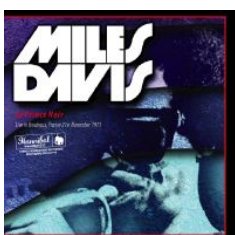
1CD

LE PRINCE NOIR

HANNIBAL

¥三千六百元

HANNIBAL-011



"1973"マイルスの新たなる定番アイテムがHannibalレーベルより登場！1973年11/21にフランスのボルドーでおこなわれたライブを、初登場となるステレオ・サウンドボード・マスターよりデジタル・リマスタリング収録した永久保存のプレスCDです。数々の名演を生み出した伝説の73年ツアーの最終盤におこなわれたこの日のステージ、一部マニアの間でその存在を噂されていた超貴重なライブが、遂に決定版仕様でそのベールを脱ぐこととなりました。冒頭の「Turnaroundphrase」出だしからブチ切れたPete Coseyの凄まじいギターが炸裂！歴史的名演とされるベルリン公演を筆頭に、ファン必聴音源が目白押しとなっている11月欧州ツアーからの発掘音源だけに、その内容の素晴らしさは想像に難くないでしょう！ファン待望のこのボルドー公演を、現存する最良の状態のマスターよりデジタル・リマスタリング収録したのが本作。ギター、トランペットといったリード楽器が前面に押し出したステレオ・サウンドは、1973年という時代を全く感じさせない素晴らしいもので、一部トレーダー間等で出回っている“あたかもホールの外で聴いているかのような”ぼやけたベース音しか聴こえない劣悪な音質の音源とは完全な別物です。1973年を締めくくる全ファン必聴のステージ、限定プレスCDでのリリースです。

PAT METHENY  
GROUP

1DVD

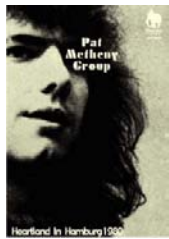
HEARTLAND IN HAMBURG

HANNIBAL VISION

¥三千円

1980

HV-002



Pat Metheny Groupの1980年7月8日ハンブルグ公演が、オフィシャル級の完璧な画質+音質のプレスDVDで登場。アナログブート時代から一部が出回っていたこともある公演で、既に全長版のDVDRも市場に出回っているの、一見するとファンの方には驚きの内容ではないかもしれませんが。しかしながらこのたびのリリースは、放送局蔵出しのマスターテープに映像・音声ともにプロユースの最新機材による独自のリマスタリングを施しており、そのクオリティにおいて正に決定版と呼ぶに相応しい驚愕の仕上がりとなっています。演奏内容としては『American Garage』期の非常に若々しいステージで、プロショットならではの鮮明なカメラ割りは涙モノ、長年のファンの方にはMark Egan、Danny GottliebのオリジナルPMGによる熱演を取めた本作は79年の初来日とダブらせて観入ってしまうこと必至、また新しい世代のファンの方であれば、あまりにも初々しいPMGの姿に衝撃となるはず、これぞ正に感涙のアイテムといえるでしょう。

WEATHER REPORT

2CD

TWO THE STARS 1978

HANNIBAL

¥三千七百元

HANNIBAL-004



ウェザー・リポートの1978年東京公演を、極上音質のステレオ・サウンドボード・マスターより24bitデジタル・リマスタリング収録したプレスCDです。7月2日の中野サンプラザにおけるステージ（「Black Market」のみ6/28の厚生年金会館からの音源）を放送用のマスターより収録したこの年の来日音源は、様々なコピーが以前よりマニアの間では流通していましたが、本タイトルにはその中でも最もダイナミックレンジが広くノイズの少ない最良のマスターを使用、プロ・スタジオ持ち込みによるデジタル・リマスタリングにより、オフィシャル盤と比べても何ら遜色の無い最高級のクオリティを実現しています。さらにボーナスとして、DISC2の3曲目以降に、オフィシャル『Live and Unreleased』にも一部収録されている同78年のアリゾナ公演より、オフィシャル盤未収の5曲をこちらも高音質のステレオ・サウンドボード・マスターより追加収録。Joe Zawinul、Wayne Shorter、Jaco Pastorius、Peter Erskine、この時期のウェザーのライブは1ヶ月違えば全く楽曲のアレンジを異にするという野心的かつ時代の最先端を切り拓くものであったので、金字塔ライブアルバム『8:30』と並び、本タイトルは真にファン必携の1枚となることでしょう。

MILES DAVIS

1DVD

NAKED STAR IN WARSAW

HANNIBAL VISION

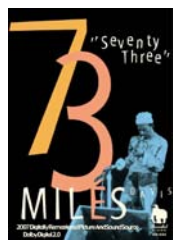
¥三千円

1983

HV-001



MILES DAVISの1983年10月23日ワルシャワ公演が、オフィシャル級の完璧な画質+音質のプレスDVDで登場。近年発掘されたマスターテープに、映像・音声ともにプロユースの最新機材による独自のリマスタリングを施したファン驚愕のクオリティの逸品です。John Scofield加入後、Mike Sternの脱退を経て1ギター編成となった時期の貴重なライブで、BassにはDarryl Jonesが定着し、またRobert Irvingが加入したことにより新たな生命力を得たバンドの姿を最高級のクオリティでお楽しみいただけます。80年のカムバック後、精力的なツアーをこなしてきたマイルスのプレイヤーとしての魅力は勿論、1ギターとなったことが却って奏功した感すらあるジョンスコの変態的なギターワーク、そしてマーカス・ミラー脱退後最大の懸案事項でもあったベースプレイヤー探しに終止符を打つ若きダリル・ジョーンズのプレイ等、全編見所満載の111分です。



マイルスが1973年に行ったステージより、ウィーン、ストックホルム、モントルーの3公演をいずれも過去最高の決定的なクオリティのプロショットにて収録したプレスDVDです。まずは11月3日のオーストリアはウィーンでのライブを、近年の再放送に用いられた極上クオリティのマスターよりデジタル・リマスタリング収録。不動のラインナップでおこなわれた73年ツアーのハイライトといっても過言ではないウィーン公演、タイトなグルーブの中繰り広げられる殺気に満ちた各メンバーのソロプレイは圧巻です、オフィシャル・クオリティの最高の映像と音質でご堪能下さい。続いて10月27日のストックホルム公演を、現存する最良の状態のマスターよりデジタル・リマスタリング収録。こちらはウィーン公演の完璧なクオリティにこそ及びませんが、時代を考えると十分すぎるほどの高画質・高音質による収録となっています。そして最後に、オフィシャルのボックスセットにも収録されている7月8日モントルーのステージより、「Ife」「Calypso Frelimo」の2曲をやはり高画質・高音質のプロショットにて追加収録。

---